

第3学年 食に関する実践記録

1, 三宅先生からの給食指導

○「食事のマナー」について

食事のマナーについて話を聞いた。今回は、箸の使い方やタブーとされる箸の使い方について教えていただいた。子どもたちは、真剣に話を聞いていた。また、給食時間いっぱい教室にいてくださり、子どもたちに声かけをしていただきこの日は子どもたちがほとんど残さず完食となった。



○「給食の歴史」について

子ども達は、給食が明治22年の山形県から始まり、最初はおにぎりと魚・漬物だけだった事を知り驚いていた。また、戦争がひどくなってきた数年間は給食が停止した事を知り、その間何を食べていたんだろうと考える子もいた。話の後、質問する児童もいて話を真剣に聞いていた。今回も給食の残菜がほとんど出なかった。



2, 給食を作って下さっている方々へ感謝の気持ちを伝えよう。

○毎日当たり前に食べている給食だが、給食が自分たちのもに届くまでにどのような人達関わって下さっているのかを再認識した。様々な人達が自分たちが食べている給食に関わって下さっていることに気付き、感謝の気持ちを書くことにした。

